

平成24年度 富士川町の地域文化の伝承と創造シンポジウム

峡南地域の展望を語る



富士川町は、その昔、駿河と甲州を結ぶ富士川舟運の要衝の地として栄えました。舟は、人や物を運び、全国から集められた物品・文化・風習が次々と流れ込み、経済・文化の表玄関となりました。現在の富士川町にも、山車、鰍沢ばやし、春米の銭太鼓、氷室神社の神楽、鷹座楽小林八幡太鼓など様々な歴史・文化が受け継がれています。富士川町の地域文化を見つめなおし、地域の若者や子どもたちへの伝承や、観光や地域活性化につなげるための展望を一緒に考えませんか？

平成24年 **12月15日(土)**
会 場：ますほ文化ホール

プログラム

- 12:30 開 場
- 13:00 開 会・あいさつ
- 13:05 『峡南地域の展望を語る』
 - ◇基調講演 伊藤 洋氏<山梨県立大学 学長>
 - ◇パネルディスカッション
 - ・コーディネーター 伊藤 洋氏<山梨県立大学 学長>
 - ・パネリスト
 - 長澤 利久氏<株式会社はくばく 会長 / NPO 法人富士川・夢・未来 理事長>
 - 野田 金男氏<(社)やまなし観光推進機構 顧問>
 - 早川 源氏<(財)山梨総合研究所 副理事長>
 - 内藤 いづみ氏<ふじ内科クリニック 院長>
- 15:50 伝統文化演舞 (鰍沢ばやし、春米の銭太鼓、氷室神社の神楽、まほらの郷 鷹座楽小林八幡太鼓)
- 16:45 閉 会

参加
無料

1 鯨沢ばやし



引き回される江戸時代制作の「山車」、その上で「丁目」ごとに競い合い、演奏されるのが「鯨沢ばやし」です。練習には、小学生や保育園児も参加

します。鯨沢中学校の学園祭では、必ず生徒が演奏しています。近年では創作太鼓の演奏も加わって、多くの人たちに受け継がれています。

2 春米の銭太鼓



銭太鼓は、竹筒とお茶筒に「銭（銅貨）」を入れたもので拍子をとつつ、1～12月までの数え唄を和する伝統芸能です。

春米の銭太鼓は、明治・大正時期に伝承されたと言われており、現在、和太鼓を取り入れながら、保存会により、地元の小学生などに受け継がれています。

3 氷室神社の神楽



平林鷹尾山氷室神社に伝承されている大和神楽は、昭和4年の春の例大祭から神楽殿完成と共に神楽を舞い始めたと伝えられて

います。以来、先輩方の教えに従い、現在も地域の若い人達に受け継がれています。例大祭では商売繁盛、五穀豊穡、氏子の健康を祈願し、奉納神楽を舞い続けています。

4 まほらの郷 鷹座巢小林八幡太鼓



鷹座巢山に見守られた“まほらの郷”小林地区にて、平成11年に発足。「打ち出す和太鼓の音が、県内外、日本全国、そして世界にまで

響き渡り、見た人、聴いた人、一人一人の明日への元気の源になれば」との思いのもと、地域の子どもから高齢者が集まり、活動に打ち込んでおり、様々な町内外のイベントで力強い鷹座巢小林八幡太鼓の演奏を披露しています。

参加申込書

ファックス送信先 **0556-22-3348** 12月14日（金）までにお申し込みください。
 ■ 持参の受付先：ギャラリー青柳（青柳町363）、酒蔵ギャラリー・六斎（青柳町1202-1）
 ■ メール受付先：お名前、電話番号、ファックス番号、Eメールアドレスを明記の上、
 bunka@landbrains.co.jp までお送りください。

※この用紙で3名まで申込できます。

※4名以上でのご参加の場合は、本用紙をコピーしてお申し込みください。

※定員になり次第、締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。

	①	②	③
お名前			
電話番号			
ファックス番号			
Eメールアドレス			

問合せ先：富士川町伝統文化活用実行委員会 事務局

TEL 090-9139-5538(大蔵) 080-3710-8547(上原) FAX 0556-22-3348